

平成24年度一般会計当初予算のあらまし

1 予算編成の基本

世界経済の減速や円高の進行などが大きく影響し、歳入の根幹をなす町税は前年度見込みより減少する見通しであり、住民生活及び経済・雇用環境の厳しさが続くことが予想されることから、暮らしの安心・安全を守り、住民との協働を進め、町の将来に希望をつなぐ、自主・自立の財政基盤を確立するため、行財政改革の取り組みを進め、「心をつなぎ ともに創る 茶文化のまち」の実現に向けて積極的な予算を編成。

2 予算規模 37億5,900万円（対前年度比 1.3%増）

（23 37億1,200万円）

※子どものための手当を除くと、対前年度比 2.6%増

3 収支見通し

(1) 歳入

○町税収入 △4,057万円減（対前年度比 △2.7%減）

14億8,892万7千円（23 15億2,950万1千円）

□個人町民税の増 2,532万円（6.2%増）

[※扶養控除制度変更に伴う増 2,600万円]

□法人町民税の減 △42万円（△0.3%減）

[※H23年度歳入見込に対し20%減]

□固定資産税の減 △7,640万円（△8.4%減）

○地方譲与税、各種交付金の減 △1,134万円減（対前年度比 △4.8%減）

2億2,670万円（23 2億3,804万円）

□地方譲与税の減 △70万円

□ゴルフ場利用税交付金の減 △170万円

□自動車取得税交付金の増 320万円

□地方消費税交付金の減 △60万円

□その他増減分 △1,154万円

○地方交付税 7,000万円増（対前年度比 8.4%増）

9億円（23 8億3,000万円）

□普通交付税の増 6,000万円

□特別交付税の増 1,000万円

○臨時財政対策債 △1,310万円の減（対前年度比 △5%減）

2億5,090万円（23 2億6,400万円）

・財政改革及び交付税の増額等による財源の確保により、発行額減

(2) 歳 出

① 義務的経費の推移

○人 件 費 $\Delta 419$ 万円減（対前年度比 0.4%減）

9億4,363万1千円（ $\text{\textcircled{23}}$ 9億4,782万2千円）

○扶 助 費 $\Delta 2,637$ 万円減（対前年度比 $\Delta 5.5\%$ 減）

4億5,710万1千円（ $\text{\textcircled{23}}$ 4億8,347万4千円）

□子どものための手当（国制度改正による）の減 $\Delta 48,108$ 千円

□障がい者自立支援給付の増 16,211千円

□子育て支援医療費支給費の増（H23.10より中学生まで拡大）

3,173千円

○公 債 費 $\Delta 972$ 万円減（対前年度比 $\Delta 2.1\%$ 減）

4億5,085万3千円（ $\text{\textcircled{23}}$ 4億6,057万4千円）

□臨時財政対策債分の増等により、H21～23は公債費のピーク

*地方債残高 $\text{\textcircled{24}}$ 40億2,229万円 $\text{\textcircled{23}}$ 40億3,898万円

※23及び24年度残高については、見込み額

② その他経費等の推移

○繰 出 金 130万円増（対前年度比 0.3%増）

4億3,285万円（ $\text{\textcircled{23}}$ 4億3,155万円）

□国民健康保険特別会計への繰出金の増

□公共下水道事業特別会計への繰出金の増

□介護保険特別会計への繰出金の増

○災害復旧費 4,000万円増（対前年度比 343.3%増）

5,165万円（ $\text{\textcircled{23}}$ 1,165万円）

□農地農業用施設災害復旧費の増

○普通建設事業費の増 3,622万円増（対前年度比 22.4%増）

1億9,828万円（ $\text{\textcircled{23}}$ 1億6,206万円）

□役場庁舎耐震等改修事業、住民グラウンド公園整備事業、集落内生活道路改良事業など

4 予算編成時における収支不足

収支不足額 $\Delta 1$ 億9,165万円

5 財源捻出の工夫

持続可能な健全財政を目標に、簡素で効率的な組織運営や不要不急な事業の見送り又は廃止など、事業の再編に努め、限られた財源を有効活用し、「収支不足の解消」と「未来のための施策」に必要となる財源を捻出。

(1) 財政改革の取組み

収支の均衡を図り持続可能な健全財政の確立のため、全庁一丸となって財政改革を推進。

○削減等総額 Δ 1億9,520万円

▽簡素で効率的な組織運営（人件費の削減等） Δ 2,510万円

□職員数の削減等

▽業務の選択と集中 Δ 1億5,150万円

□施設運営経費の見直し

□事業内容の精査・見直し

□不急事業の見送り

▽経常経費の見直し Δ 1,860万円

□各種事務経費の見直し

(2) 財源の確保

○特定目的基金・財政調整基金の活用

□特定目的基金 6,600万円

□財政調整基金 1,000万円

○起債の発行

□事業債 1,690万円増

〈参考〉

[地方債残高]

(単位：万円)

	H24 (見込み)	H23 (見込み)	H22	H21
地方債残高総額(a)	402,230	403,898	407,289	404,054
臨時財政対策債(b)	188,800	177,276	163,113	140,716
実質残高(a-b)	213,430	226,622	244,176	263,338

※町の負債である事業債（実質）残高は、減少している一方、国より交付される地方交付税の代替財源である臨時財政対策債の発行が増加。

[財政調整基金残高]

(単位：万円)

	H24 (見込み)	H23 (見込み)	H22	H21
財政調整基金	130,178	130,949	125,948	102,698

6 財政改革で捻出した成果を住民生活を守る施策に重点投入
(対前年度比 24.0%増 ※事業に占める一般財源額比較)

町が取り組む新規・拡充施策

(1億407万円)

●6つの重点プロジェクト

重
点
施
策
41
事
業

- ⇒ 安心・安全プロジェクト 3,302万円
・ため池安全診断事業 など8事業
- ⇒ 産業・観光活性化プロジェクト 1,898万円
・がんばる まちの商店・企業応援事業 など9事業
- ⇒ 健康長寿日本一プロジェクト 694万円
・感染症予防ワクチン接種助成事業 など6事業
- ⇒ 地域福祉対策プロジェクト 1,717万円
・福祉バス運行事業 など8事業
- ⇒ 環境対策プロジェクト 1,236万円
・低炭素化社会推進事業 など3事業
- ⇒ 教育環境充実プロジェクト 1,560万円
・みんなが憩う住民グラウンド公園整備事業 など7事業

宇治田原町 平成24年度当初予算

37億5,900万円

未来へ駆けだす 宇治田原予算

～住民との協働で明るい明日への一歩～